

# ユニセフとわたしたち



第24回ユニセフ・札幌ラブウォークより 撮影:北海道ユニセフ協会

## CONTENTS 【目次】

- ご挨拶
- 2018年事業報告
- 2019年事業計画
- 北海道ユニセフ協会規約
- 支部報告と計画の概要
- 写真で見る活動報告
- 報告「25周年にあたって」  
「ブータン水と衛生プロジェクト、8年間の取り組み」
- インフォメーション

公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織

### 北海道ユニセフ協会

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 コープさっぽろ本部2F  
TEL.011-671-5717 FAX.011-671-5758 E-mail:info@unicef-hokkaido.jp  
<http://www.unicef-hokkaido.jp>

北海道ユニセフ協会は下記の曜日・時間に開設しております。  
お気軽にお問い合わせ下さい。

- 活動日／月・火・木・金曜日／AM10:00～PM4:00
- お休み／水・土・日曜日・祝祭日・夏冬休み

北海道ユニセフ協会  
会長理事 長瀬 清



昨年も 10月に街頭募金活動を行ないました。

多くの方々から支援を頂きました。有難いことです。

世界 34 の先進国・地域に民間組織としてユニセフ協会が置かれ、国連機関のユニセフを支える募金活動を行っています。

2017 年度 1 年で約 180 億円の募金を集め、それを基に活動をしています。

インターネット上で、ユニセフ協会に対して批判的発言をするものがあります。

SNS を介して誤情報が拡散し、迷惑を被った人は数知れず報告されています。

日本ユニセフ協会は正式に国より認められた公益法人で、これに対して誤った情報を流すことは許されません。ユニセフは現在持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けて事業を遂行しています。これには次の 5 つの目標があります。1. 生存と成長—すべての子どもが命を守られ、健やかに成長できること。2. 教育—すべての子どもが教育を受けられること。3. 子どもの保護—すべての子どもが、暴力や搾取から守られること。4. 水と衛生—すべての子どもが、安全で清潔な環境で暮らすこと。5. 公平な機会—すべての子どもが、人生において公平な機会を得ること。私達は、力を合わせこれらの目標を達成するよう、根気よく努力を続けることが大切です。



理事会



ハンド・イン・ハンド

# 2018年 事業報告

## 1) 活動報告

### 1. 北海道ユニセフ協会の運営を向上させます。

- ① 拡大常務会は年11回開催し、4月に第1回理事会・評議員会を行い、2017年報告と2018年事業計画が審議されました。また同日、支部連絡会を開催し事務局と各支部からの連絡交流を深めました。10月に第2回理事会を行い、2018年上期報告と2019年事業計画が審議されました。
- ② ボランティアの募集を目的に、ボランティア説明会を札幌・北広島で開催しました。また各イベント会場にてボランティア募集も行いました。
- ③ 他団体主催・共催のイベントを通じて交流を深めるとともにネットワークの充実を図りました。「チーム・ユニセフ×日本中学校体育連盟@北海道」アイスホッケー全国大会でパネル展及び視聴覚教材の展示を、「ハコダテだらせんプロジェクト」ではユニセフの活動紹介と外国募金についての紹介、高文連十勝支部ボランティア専門部研究大会主催の「命をつなぐユニセフ活動」での講演会・ワークショップ、北海道国際理解教育研究協議会主催の後志大会にそれぞれ参加しました。NPO法人札幌歩こう会の名義後援を行い、市立札幌大通高校のフェアトレード商品バザーをイベント会場で活動いただきました。
- ④ 毎月ボランティア通信を発行し、ユニセフについての内部学習を進めました。また、日本ユニセフ協会が主催する会議・研修会に参加し、情報交換と学習を進めました。ユニセフカンボジア事務所におられた当協会評議員の内部講演会も行いました。

### 2. ユニセフ活動への理解と協力を広げる活動を強めます。

- ① 広報誌は5月に2200部発行し、役員、会友、後援依頼先、協力団体・個人などにお届けいたしました。ホームページでは、10月からリニューアルを図り、スマートフォン対応にすることにより若年層への発信の強化につなげました。北海道・札幌市・帯広市・北海道内179市町村教育委員会及び11の報道関係に北海道ユニセフ協会への後援をいただきました。
- ② 出前授業・講座の依頼は14件、ユニセフ視聴覚教材・蚊帳などの学習ツールの貸し出しは21件となりました。
- ③ ユニセフ写真展開催は、会場での説明から募金・支援ギフトへつなげるよう努力しました。ちえりあで2回、新千歳空港・北海道庁・アスティ45やコープさっぽろ関係11か所で取り組みましたが、札幌市役所は震災の影響で中止となりました。
- ④ 講演会の開催は、内部学習会として取り組みました。25周年記念講演開催の計画も進めました。
- ⑤ 北海道ユニセフ協会会友及び日本ユニセフ協会賛助会員の拡大は、イベント会場での呼びかけを中心に行いました。

### 3. ユニセフ募金についての活動を前進させます。

- ① 一般募金はイベントでの呼びかけを中心に行いました。学校募金は、出前授業・ユニセフ資料の貸出等の機会に募金のご案内をしました。団体・企業への取り組みは、北海道庁・札幌市役所に呼びかけ、また、コープさっぽろの「水と衛生プロジェクト」にともに取り組みしました。緊急募金は「ロヒンギャ緊急募金」をイベント2会場において呼びかけを行い、第24回ユニセフ・札幌ラブウォークも行いました。外貨募金は新千歳空港国際線・千歳セントラルロータリークラブ・ハコダテだらせんプロジェクト・コープさっぽろ書き損じはがきキャンペーンで集められたものを、日通航空より日本ユニセフ協会へ発送しました。
- ② 今年度のハンド・イン・ハンドは「子どもたちに生きるチャンス」をテーマに役員、ボランティアの皆さんと行いました。
- ③ 支援ギフトは北海道ユニセフ協会事務所にて常設展示している他、イベント3会場で展示されました。また、北海道高等学校長協会「社会貢献プロジェクト」や会員の皆様から寄せられた寄付金から「箱の中の学校」を申し込みました。
- ④ 使用済み切手・書き損じはがきの換金作業・イベントでの募金の呼びかけに取り組みしました。コープさっぽろ「書き損じはがきキャンペーン」仕分け換金作業を行いました。
- ⑤ カレンダー募金はホームページによる提供の呼びかけを行いました。コープさっぽろ4店舗に企業や個人から提供いただいたカレンダーを配布し、募金活動に取り組んでいただきました。

## 2) 2018年 決算報告

### 《収入の部》

大項目	中項目	小項目	合計
協会からの仮受金			4,204,076
	運営費仮受金		1,387,500
	地域普及費仮受金		2,816,576
	特別事業費仮受金		0
寄付金収入			0
会費収入(独自)			0
助成金収入			0
	公的機関から補助金		0
	民間からの補助金		0
雑収入			3,247
募金仮受入金			3,247,260
小計			7,454,583
前期繰越金			100,000
収入合計			7,554,583

### 《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
事業費	啓発・募金活動費		2,869,909
		催事費	250,703
		資料製作費	321,579
		旅費交通費	265,730
		通信運搬費	344,073
		消耗品	37,703
		ボランティア費	558,986
		アルバイト費	120,000
		光熱水費	49,374
		事務所借料	259,200
		OA機器リース費	52,488
		事務局スタッフ費	600,000
		雑費	10,073
	特別事業費		0
運営費			1,185,432
	会議費		24,446
	通信運搬費		4,510
	消耗品		16,200
	図書資料費		2,260
	印刷製本費		0
	光熱水費		49,374
	賃借料		311,688
		事務所借料	259,200
		OA機器リース費	52,488
	備品購入費		4,340
	交通費		168,780
	事務局スタッフ費		600,000
	雑費		3,834
	租税公課		0
募金仮受入金払出金			3,247,260
	日本ユニセフ協会へ返金		151,982
小計			7,454,583
次期繰越金			100,000
支出合計			7,554,583

## 3) 活動データ

### I 月別募金推移

円(件数)

	1月	2月	3月	4月
2017年	628,959(15)	141,540(14)	379,087(12)	12,923,387(6)
2018年	617,537(10)	225,937(15)	570,127(13)	11,821,102(10)
	5月	6月	7月	8月
2017年	196,215(17)	203,231(19)	765,021(36)	40,272(4)
2018年	277,036(22)	99,492(18)	645,580(31)	245,613(15)
	9月	10月	11月	12月
2017年	208,665(10)	1,135,709(18)	742,822(36)	2,890,804(76)
2018年	166,042(7)	195,408(23)	120,545(17)	3,462,910(71)
	合計			
2017年	20,255,712(263)			
2018年	18,447,329(252)			

### II 会友登録状況

2018年12月31日現在で123人の登録となっております。

### III 2018年募金をいただいた方々

(書き損じはがき・使用済み切手など含みます)

#### 1月

個人4件/匿名2件/公益財団法人北海道学校給食会/音更町役場/札幌大通郵便局/コープさっぽろ3件/コープさっぽろ西岡店ボランティアグループ/コープさっぽろ北郷店ライラックコープ会・なでしこコープ会/㈱もちづき配管工業/チャイルドサポートはまなす

#### 2月

個人2件/札幌市立西野中学校/ガールスカウト北海道連盟札幌地区協議会/札幌市立寒寒西小学校/市立札幌大通高等学校/北海道年金受給者協会/コープさっぽろ1件/㈱辻孔版社/日本設備工業(株)札幌支店/チャイルドサポートはまなす

#### 3月

個人1件/匿名1件/帯広長崎屋郵便局/音更町社会福祉協議会/明治安田生命保険相互会社/旭川神楽岡5条郵便局/岩見沢市社会福祉協議会/札幌市立屯田北小学校/札幌市立新琴似中学校/札幌静修高等学校/清田みなさん会/かんぼ生命保険北海道エリア本部札幌支店/札幌グリーンライオンズクラブ/コープさっぽろ2件/㈱オバタ/東京海上日動火災保険(株)/チャイルドサポートはまなす

#### 4月

個人4件/匿名1件/社会福祉法人大石福祉会/石川県ユニセフ協会/太平電気(株)日本石油輸送(株)北海道支店/チャイルドサポートはまなす

#### 5月

個人8件/匿名2件/札幌新川四条郵便局/森の広場の音楽会/日本ボーイスカウト北海道連盟/㈱交通新聞社北海道支社/札幌大通郵便局/JA北海道信連/コープさっぽろ1件/北海道はまなす食品(株)/佐藤水産(株)/コンサドーレ(株)/チャイルドサポートはまなす

- 6月 個人5件／匿名1件／コープさっぽろ1件／日比谷通商(株)北海道支店／(株)北陸銀行篠路出張所／チャイルドサポートはまなす
- 7月 個人2件／中外製薬(株)／札幌新川四条郵便局／コープさっぽろ1件／チャイルドサポートはまなす
- 8月 個人3件／コープさっぽろ2件／(株)電器堂パートナー開発／公益財団法人北海道学校給食会／北海道教職員組合／札幌大通郵便局／チャイルドサポートはまなす
- 9月 個人2件／コープさっぽろ3件／(株)コープフーズ／(株)コンサドーレ／北嶺中・高等学校／チャイルドサポートはまなす
- 10月 個人5件／匿名2件／コープさっぽろ新発寒店ユニセフグループ／森の広場の音楽会／ホテルまほろば／名湯の宿パークホテル雅亭／旅亭花ゆら／御やど清水屋／登別石水亭／(株)第一滝本館／滝本イン／滝乃家別館玉乃湯／登別観光商事(株)ホテルゆもと登別／登別万世閣／コープさっぽろ3件／チャイルドサポートはまなす
- 11月 個人8件／匿名6件／平取町社会福祉協議会／札幌中島ライオンズクラブ／コープさっぽろ3件／(株)協和エクシオ北海道支店／チャイルドサポートはまなす
- 12月 個人14件／音更町社会福祉協議会／回明堂眼科・歯科／札幌市立富丘小学校／札幌市立発寒小学校／札幌市立発寒西小学校／札幌市立屯田小学校／札幌市立西野小学校／札幌市立山の手南小学校／札幌市立前田北中学校／札幌市立新琴似中学校／札幌市立発寒中学校／ひばり永遠の会／市民ネット石狩／コープさっぽろ3件／SKクリード札幌支店／札幌通商(株)／チャイルドサポートはまなす

#### IV パネル・DVDなどの貸出実績

- 1月 札幌市立屯田北小学校／札幌市立西野中学校
- 2月 札幌市立白石中学校
- 8月 札幌市立共栄小学校
- 9月 光塩学園女子短期大学  
公益社団法人スコレ家庭教育振興協会
- 10月 札幌市立光陽小学校／新篠津村立新篠津中学校  
札幌市立北栄中学校／札幌市立札幌北中学校  
札幌市立前田北中学校

- 11月 札幌市立発寒西小学校／伊達市立稀府小学校／知内町立知内小学校／札幌市立富丘小学校／札幌市立発寒東小学校／札幌市立山の手南小学校／札幌市立共栄小学校／札幌市立発寒中学校／札幌市立簾舞中学校／カトリック伊達教会／国際理解教育研究会／コープさっぽろ帯広地区委員会

- 12月 札幌市立青葉中学校

#### V 学習会・募金贈呈式

- 1月 コープさっぽろ西岡ボランティアグループ
- 2月 札幌市立新川小学校／札幌市立発寒西小学校  
新ひだか町立高静小学校／札幌市立西野中学校  
市立札幌大通高等学校／北海道高等学校長協会
- 3月 札幌市立屯田北小学校／札幌市立新琴似中学校  
札幌静修高等学校  
(株)かんぽ生命保険北海道エリア本部
- 4月 札幌大学ユニセフネットワーク
- 5月 (株)佐藤水産／森の広場の音楽会
- 6月 市立札幌大通高等学校  
千歳セントラルロータリークラブ
- 7月 札幌市立中央中学校／コープさっぽろ釧路地区委員会  
／コープさっぽろ平岡店
- 9月 北嶺中・高等学校  
北海道高等学校文化連盟十勝支部
- 10月 札幌市立西野小学校／札幌市立共栄小学校  
札幌市立西野小学校／北海道医療大学
- 11月 札幌市立発寒西小学校／札幌市立発寒南小学校  
札幌市立宮の丘中学校／コープさっぽろ帯広地区  
／コープさっぽろ新道店
- 12月 札幌市立山の手南小学校／札幌市立富丘小学校  
札幌市立西野小学校／札幌市立屯田小学校  
札幌市立発寒西小学校／札幌市立新琴似中学校  
札幌市立前田北中学校

\*順不同  
\*個人のご氏名は確実に公表確認が取れず、延べ人数の表示とさせていただきます。  
\*募金は北海道ユニセフ協会扱いのみ記載しています。



# 2019年 事業計画

## 1) 活動計画

### 1. 北海道ユニセフ協会の運営を向上させます。

1. 機関運営は従来通り拡大常務会月例開催し活動の報告と審議を行います。理事会は年2回（4月、10月）評議員会年1回（4月）行い、報告や計画を審議します。
2. ボランティア体制の充実に努めます。説明会を開催し、イベントでもボランティア募集を行います。
3. 他団体とのネットワークづくりを目指します。また、名義後援もを行います。
4. 日常的な運営は事務局とボランティアの協力で行います。日本ユニセフ協会主催の研修会等に参加し、情報交換と学習を進めます。

### 2. ユニセフ活動への理解と協力を広める活動を強めます。

1. 広報誌は2200部発行し、役員・会友・後援依頼先・協力団体・個人などにお届けします。ホームページについては活動を事前にお知らせし、毎週更新として報告できるよう努めます。自治体及び教育委員会、報道機関に後援の依頼をします。
2. 学校関係との連携強化を目指し、出前授業や講座を行います。視聴覚教材などの貸出もを行います。
3. 北海道内各地の公共施設及び会場でユニセフ写真展を開催し、広く道民の理解と協力を呼びかけます。合わせて、募金・支援ギフトへつなげる努力をします。
4. 北海道ユニセフ協会25周年記念講演会を開催いたします。
5. 北海道ユニセフ協会会友及び日本ユニセフ協会賛助会員の拡大を目指します。

### 3. ユニセフ募金についての活動を前進させます。

1. 一般募金の拡大を目指し、学校関係の働きかけの他、団体（企業）の協力支援強化の為の呼びかけ、事務局での地道な働きかけを定型活動に出来るよう努めます。
2. ハンド・イン・ハンドは、北海道ユニセフ協会主催の定例化とし、各支部にも実施要請していきます。2019年は10月開催します。その他企業、学校関係へも事前に働きかけます。
3. 当協会事務所にて常設展示のほか、イベントでの「支援ギフト」紹介に取り組みます。
4. ボランティアグループ「チャイルドサポートはまなす」による募金活動を強めます。
5. カレンダー募金は提供者（企業）、実施店への協力体制を拡充強化していきます。

## 2) 2019年度 予算

### 《収入の部》

大項目	中項目	小項目	合計
協会からの仮受金収入			5,758,530
	運営費仮受金		1,387,500
	地域普及費仮受金		3,871,030
	特別事業仮受金		500,000
寄付金収入			0
会費収入(独自)			0
補助金収入			0
	公的機関からの補助金		0
	民間からの補助金		0
雑収入			1,000
募金仮受入金			2,000,000
小計			7,759,530
前期繰越金			100,000
収入合計			7,859,530

### 《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
事業費			4,372,030
	啓発・募金活動費		3,872,030
		催事費	600,000
		資料製作費	450,000
		旅費交通費	550,000
		通信運搬費	450,000
		消耗品費	120,000
		ボランティア費	600,000
		アルバイト費	120,000
		光熱水費	49,374
		事務所借料	259,200
		OA機器リース料	52,488
		事務局スタッフ費	600,000
		雑費	20,968
	特別事業費	25周年事業	500,000
運営費			1,387,500
	会議費		40,000
	通信運搬費		20,000
	消耗品費		15,000
	図書購入費		5,000
	印刷製本費		30,000
	光熱水費		49,374
	賃借料		311,688
		事務所借料	259,200
		OA機器リース料	52,488
	備品購入費		8,000
	交通費		300,000
	事務局スタッフ費		600,000
	雑費		8,438
	租税公課		0
募金仮受入金払い出し金			2,000,000
日本ユニセフ協会へ返金			0
小計			7,759,530
次期繰越金			100,000
支出合計			7,859,530

# 2019年 役員・評議員名簿

## 1) 役員

顧問	鈴木直道 (北海道知事)	常務理事	中村純 (コープさっぽろ 組織本部基金事務局長)
顧問	秋元克広 (札幌市長)	理事	石井純二 (北海道経済同友会代表幹事)
顧問	岩田圭剛 (北海道商工会議所連合会会頭)	理事	扇間康弘 (日本ボーイスカウト 北海道連盟副理事長)
相談役	重原祐治 (前財日本ユニセフ協会 北海道支部常務理事)	理事	柴田倫宏 (北海道農業協同組合中央会常務)
会長理事	長瀬清 (北海道社会福祉協議会会長・ 北海道医師会会長)	理事	出村良平 (連合北海道会長)
副会長理事	麻田信二 (北海道生活協同組合連合会会長)	理事	宮口宏夫 (㈱北海道新聞社常務取締役)
副会長理事	吉野次郎 (元北洋銀行代表取締役副会長・ 現㈱北星コーポレーション顧問)	監事	伊東孝 (伊東法律会計事務所所長 弁護士・公認会計士)
専務理事	花淵馨也 (北海道医療大学大学院教授)	監事	中坪正芳 (折笠会計事務所)
常務理事	櫻木真紀 (コープさっぽろ理事)		
常務理事	銀輝 (北海道ユニセフ協会事務局長)		

## 2) 評議員

阿部満 (生田原ちゃちゃワールド代表)	中尾了信 (北海道仏教会連盟会長)
池内清 (朝日新聞北海道支社長)	西尾吉博 (伊藤組土建㈱専務取締役)
木曾修 (真宗大谷派北海道教務所長)	西嶋一泰 (読売新聞東京本社北海道支社長)
市川勝治 (日本ユニセフハムクラブ監査役)	西田栄子 (北海道ユニセフ協会道東支部代表)
伊藤弘二 (北海道放送㈱社長室長)	西村裕子 (北海道小学校長会事務局幹事)
植田めぐみ (㈱ガールスカウト北海道連盟連盟長)	根岸豊明 (札幌テレビ放送㈱代表取締役社長)
大泉弘 (前室蘭友の会代表)	野内吉徳 (ボーイスカウト北海道連盟 常任理事)
岡田佳子 (北海道開発教育ネットワーク運営委員)	野々村芳和 (㈱コンサドーレ代表取締役社長)
岡田朋子 (北海道ユニセフ協会道南支部代表)	信岡聡 (北海道教職員組合中央執行委員長)
川畑恵 ((公財)札幌国際プラザ専務理事)	橋本直樹 (北海道中学校長会前会長)
日下巖 (創価学会北海道本部副会長)	島山京子 (北海道消費者協会会長)
工藤達志 (コープさっぽろ労働組合中央執行委員長)	濱田高志 (立正佼成会札幌北教会長)
熊谷典昭 (新日本宗教団体連合会 北海道総支部事務局長)	早坂天 (北海道ユニセフ協会道北支部代表)
後藤優哉 (札幌大学ユニセフネットワーク部長)	藤井勝弘 (北海道高等学校長協会副会長)
小林道 (北海道酪農学園大学講師)	藤田一雄 (一般社団法人北海道歯科医師会会長)
斉藤令子 (元コープさっぽろ監事)	藤原幸恵 (元ユニセフ職員)
清水紀元 (北海道ユニセフ協会道東支部事務局長)	山崎賢太郎 (日本航空北海道地区支配人)
條野由理子 (元ガールスカウト北海道支部 札幌地区協議会会長)	吉澤政昭 (北海道市長会事務局長)
関口正雄 (小樽グリーンライオンズクラブ ユニセフ担当委員長/弁護士)	吉田千恵 (コープさっぽろ理事)
竹内伸仁 (㈱北海道薬剤師会会長)	吉野理佳 (㈱毎日新聞北海道支社支社長)
寺西朝子 (北海道ユニセフ協会道南支部事務局長)	若泉久朗 (日本放送協会札幌放送局局長)
樋泉実 (北海道テレビ放送㈱取締役相談役)	渡邊幸宏 (北海道ユニセフ協会道東支部中標津友の会代表)

(敬称略、理事・監事・評議員各位は五十音順)

# 北海道ユニセフ協会規約

公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織

## 北海道ユニセフ協会規約

### 前文

北海道ユニセフ協会は、(財)日本ユニセフ協会が公益財団法人日本ユニセフ協会になったことを受けて、(財)日本ユニセフ協会北海道支部を継承する形で設立されるものである。

### 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、北海道ユニセフ協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を北海道札幌市西区発寒11-5-10-1に置く。  
2 本会は、理事会の議決を経て、必要な地に従たる事務所を置くことができる。

(目的)

第3条 本会は、公益財団法人日本ユニセフ協会(「日本ユニセフ協会」)との協力協定に基づき、北海道において、日本ユニセフ協会の定款目的を実現することを目的とする。

(活動)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。  
(1) ユニセフのための広報・啓発活動  
(2) ユニセフへの協力(募金)活動  
(3) その他日本ユニセフ協会の定款目的を実現するために必要な諸活動

### 第2章 運営

(会の構成)

第5条 本会は、第6条の役員、第13条の評議員及び第15条の顧問・相談役、第21条の会友を以て構成される。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。任期は2年とし、再任を妨げない。補欠または増員により選出された役員は、前任者または現任者の残任期間とする。

- (1) 理事 20名以内
- (2) 監事 2名以内

(選任)

第7条 理事及び監事は、評議員会において選任し、理事の中から互選で次の役職者を選任する。

- (1) 会長理事 1名
- (2) 副会長理事 2名以内
- (3) 専務理事 1名
- (4) 常務理事 若干名

(職務)

第8条 会長理事は本会を代表し会務を総理する。  
2 副会長理事は会長理事を補佐し、会長理事に事故あるときにはその職務を代行する。  
3 専務理事は会長理事の意を受けて本会の業務を掌握し会長理事及び副会長理事に事故あるときにはその職務を代行する。  
4 常務理事は理事会の議決に基づき必要に応じ本会の業務を処理する。  
5 理事は理事会を構成し、本会の業務を議決し、執行する。  
6 監事は本会の会計及び業務執行状況を監査する。

### 第3章 理事会

(権能)

第9条 会長理事は毎年2回以上理事会を開催し、この規約に定めるもののほか、以下の事項について決議し、理事会の議長として理事会を運営する。

- (1) 本会の事業計画と予算案
- (2) 本会の事業報告と決算
- (3) その他本会の業務に関する重要事項

(定足数)

第10条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第11条 理事会の議決は、出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委任)

第12条 やむを得ない理由により理事会に出席できない理事は、予め通知された事項について書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。

### 第4章 評議員会及び顧問・相談役

(評議員)

第13条 本会は評議員30名以上50名以内を置く。  
2 評議員は理事会で選出し、会長理事がこれを委嘱する  
3 評議員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠または増員により選出された評議員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。

(評議員会)

第14条 評議員会は毎年1回以上開催する。  
2 評議員会は、会長理事の諮問に応じ、必要な事項について審議し助言する。  
3 評議員会には第10条、第11条、第12条の規定を準用する。  
4 評議員会の議長は評議員会において互選する。

(顧問・相談役)

第15条 本会に顧問及び相談役を置くことができる。顧問・相談役は理事会が推薦し、会長理事が委嘱する。

### 第5章 財産及び会計

(財産の管理)

第16条 本会の財産は会長理事が管理し、その方法は理事会の議決を経て会長理事が別に定める。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、移行年を除き、毎年1月1日から12月31日までとする。

(事務局)

第18条 本会の事務を処理するために事務局を設け、理事会の議決を経て事務局長及び所要の事務局員を置くほか、積極的にボランティアの参加を得るものとする。

### 第6章 規約の変更及び解散

(規約の変更)

第19条 この規約は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経なければ変更することができない。

(解散)

第20条 本会は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経て解散することができ、残余財産については日本ユニセフ協会に寄付するものとする。

### 第7章 会友

(会友)

第21条 本会の趣旨に賛同し、後援する個人または団体を会友にすることができる。  
2 会友は、本会の運営に関し何らの権利及び義務を有しない。  
3 会友に関する必要な事項は、理事会の議決を経て、会長理事が別に定める。

### 第8章 補則

(設立年の通算表記)

第22条 北海道ユニセフ協会は、(財)日本ユニセフ協会北海道支部を継承するものであり、北海道ユニセフ協会の通算年の起点を(財)日本ユニセフ協会北海道支部設立の1994年2月1日とする。

(補則)

第23条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、会長理事が別に定める。

(施行)

第24条 この規約は2011年4月1日より施行する。

# 支部報告と計画の概要

## ①道央（札幌・北海道ユニセフ協会）

### ■ 2018 年活動報告

開催月日	イベント名称（開催場所）	開催月日	イベント名称（開催場所）
1/12~20	カレンダーバザー（アスティ 45）	5/30~6/8	コープさっぽろ地区総代会・通常総代会（道内 11 会場）
1/18~21	チームユニセフ×中学校体育連盟 @北海道（釧路市民文化会館）	6/12~30・9/27~10/9	ブータン支援バザー（コープさっぽろ本部）
1/23~2/28	カレンダーバザー（コープさっぽろ等）	7/1	第 24 回ユニセフ・札幌ラブウォーク（札幌大通公園 11・12 丁目と周辺）
2/14~16	ユニセフ写真展（ちえりあ）	7/12~14	道東支部バザー（コープさっぽろ貝塚店）
2/16・3/20・4/23	ボランティア説明会（ちえりあ・コープさっぽろ北広島店・エルフィン店・貝塚店）	7/26・27	ユニセフ展（コープさっぽろトックステーション札幌中央）
2/18	ガールスカウトチャレンジキッズ（かでの 27）	8/25・9/22・9/29・10/7・10/13	食べる・たいせつフェスティバル（札幌・室蘭・釧路・旭川・北見・帯広・函館・苫小牧）
3/26・27・4/2	コープさっぽろ総代会議（小樽・岩見沢・滝川）	10/12	募金回収（登別温泉街）
4/23	ボランティア説明会（コープさっぽろエルフィン店）	10/18	ハンド・イン・ハンド（大通ピッセ前）
5/10~11・15~17	ユニセフ写真展（北海道庁・ちえりあ）	11/6~9・11/10~13	ユニセフ広場（新千歳空港／アスティ 45）
5/20	ハコダテ「だらせん」プロジェクト（函館）	11/9	外国コイン回収（新千歳空港国際線ターミナル）
5/20・9/29	森の広場の音楽会（美唄アルテピアッツァ）	11/27~12/7	ブータン支援バザー（コープさっぽろ本部ロビー）

## 2019 年事業計画

春

- ・コープさっぽろ地区別総代会議
- ・事業後援依頼
- ・理事会、評議員会
- ・広報誌発行
- ・ガールスカウトイベント
- ・ボランティア説明会

秋

- ・コープさっぽろ 食べる・たいせつフェスティバル
- ・札幌市役所ユニセフ写真展
- ・ハンド・イン・ハンド
- ・理事会
- ・25 周年記念事業

夏

- ・コープさっぽろ総代会
- ・コープさっぽろ国際協力支援
- ・森の広場の音楽会
- ・北海道庁ユニセフ写真展
- ・ユニセフ・札幌ラブウォーク

冬

- ・ユニセフ広場
- ・外国コイン回収
- ・ちえりあユニセフ写真展
- ・コープ国際協力支援

## ②道東支部（釧路）

### ■ 2018 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
1/7・8	カレンダーバザー募金	コープさっぽろ貝塚店
1/18～21	チーム・ユニセフ×中学校体育連盟@北海道	釧路市民文化会館・日本製紙アイスアリーナ
7/12～14	リサイクルバザー	コープさっぽろ貝塚店
9/23	食べる・たいせつフェスティバル in 釧路	釧路市国際交流センター
10/7	釧専祭	釧路専門学校
11/10・11	生涯学習フェスティバルまなトピア	まなぼっと幣舞



9月  
食べるたいせつ・フェス  
ティバル in 釧路



11月  
生涯学習フェスティ  
バル  
まなトピア 2018

### ■ 2019 年事業計画

予定月日	イベント名	内 容
1/13・14	カレンダーバザー募金	新年のカレンダー販売による募金活動
1/24	チーム・ユニセフ×中学校体育連盟@北海道	帯広の森アイスアリーナ
5月	第8回道東支部総会・会員研修会	道東支部の事業の報告と計画・研修会
9/21	食べる・たいせつフェスティバル in 釧路	パネル展と募金活動、チラシ配布
11月	生涯学習フェスティバルまなとぴあ	パネル展と募金活動、チラシ配布、 DVD 放映
11月中旬	釧路専門学校祭	パネル展と募金活動

## ③道東支部中標津友の会

### ■ 2018 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
7/14	北方領土返還運動寄席	中央斎場ワタナベ

北方領土返還運動寄席の会場にてポストカードバザーと募金活動、チラシ配布を行いました。

例年、ブースを設置させて頂き、また寄席の中でPR活動をさせて頂いております。お礼に寄席運営補助のお手伝いをさせて頂いております。



### ■ 2019 年事業計画

予定月日	イベント名	内 容
7月	北方領土返還運動寄席	会場内での実施補助を行い、ポストカードバザー、募金活動、チラシ配布を実施予定



## ④道北支部（旭川）

### ■ 2018 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
9/6・7	ユニセフパネル展	旭川買物公園アッシュは震災のため中止
5月～10月	募金回収と継続依頼	万葉の湯・看護専門学校・早坂企画・森のゆ花神楽・えぞや・ナチュラルー針灸院・旭川富貴堂南6条通店・末広店・豊岡店
9/29	食べる・たいせつフェスティバル in 旭川	大雪アリーナ
12/1	ハンド・イン・ハンド	旭川市買物公園（明星中学校）
12/2	ハンド・イン・ハンド	稚内



9月  
食べる・たいせつフェスティバル  
in 旭川



12月  
明星中学校生徒による  
ハンド・イン・ハンド

### ■ 2019 年事業計画

予定月日	イベント名	内 容
1/12・13	カレンダーバザー募金	カレンダー販売による募金活動
5～12月	募金回収	旭川市内及び近郊での募金回収と継続のお願い
9月	ユニセフパネル展	ユニセフ活動を理解いただくための広報活動・募金活動
9/28	食べる・たいせつフェスティバル in 旭川	大雪アリーナ
12月	明星中学校ハンド・イン・ハンド	生徒たちによるボランティア活動

## ⑤道南支部（函館）

### ■ 2018 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
1/22・26	カレンダーバザー募金	コープさっぽろ湯の川店・コープさっぽろだて店
1/27～2/3	カレンダーバザー募金	コープさっぽろ室蘭地区本部（交流会・講演会等）
5月	ハコダテだらせんプロジェクト	G スクエア
10/12	募金回収	ホテルまほろば・雅亭・花ゆら・御やど清水屋・登別石水亭・第一滝本館・滝本イン・玉乃湯・ホテルゆもと登別・登別万世閣
10/13	食べる・たいせつフェスティバル in 函館	海洋総合研究センター



1月  
カレンダーバザー（湯の川店）  
店長さんが何度も店内放送で案内して  
くださり、たくさんのお客様や従  
業員の方々にご協力いただきました。



10月  
登別温泉街での募金回収

### ■ 2019 年事業計画

予定月日	イベント名	内 容
1/17・24	カレンダーバザー募金	コープさっぽろしがイースト店・湯の川店
5月	北海道ユニセフ協会 25 周年記念上映会	「いのちのはじまり」上映
6月	募金回収	登別温泉街
9月	食べる・たいせつフェスティバル in 函館	コープさっぽろイベントに参加

# 写真で見る活動報告～北海道ユニセフ協会

## 1月

### 会計監査

予算と決算の確認



### カレンダーバザー

アスティ45で行われるバザーは毎年口コミで広がり、好評をいただいております。またコープさっぽろ組合員さん企画の店舗リサイクルバザーにも協力し、一般募金をお預かりしました



### パネル展



「チーム・ユニセフ×中学校体育連盟@北海道」では、会場でパネルと視聴覚教材の展示

## 2月

### カレンダーバザー

コープさっぽろ店舗のにしの・元町・24軒・平岡・宅配札幌中央センターをお借りして取り組み、売り上げは募金に



### ちえりあユニセフ写真展

「子どもたちに優しい地球を残そう」



### ワールドシンキング

ガールスカウト主催のイベントでSDGsゲームを実施



### ボランティア説明会

活動の説明と募集



## 3月

### コープさっぽろ総代会議

3月小樽後志エリア、南空知エリア、4月には北空知エリアでコープさっぽろのユニセフ活動をお知らせ



### ボランティア説明会

コープさっぽろ北広島店での開催。7月には釧路でも



## 4月

### 資料発送

後援名義使用許可申請など資料の発送準備



### 理事会・評議員会

事業の報告と計画を審議、視聴覚教材の展示も好評でした



## 5月

### ボランティア活動

コープさっぽろエルフィン店で説明会を4月に開催し、5月から活動しています



### 道庁・ちえりあユニセフ写真展

アグネス大使グアテマラ訪問「見えない脅威と闘う、最初の1000日」北海道庁には視聴覚教材も展示しました



## 6月

5月函館・室蘭 6月苫小牧・帯広・釧路・北見・旭川の地区総代会と札幌通常総代会にユニセフコーナーを設置



## 7月

### 第24回ユニセフ・札幌ラブウォーク

大通公園を中心にモニュメントを探しながらの散策を楽しみました。教育文化会館には学習コーナーを設けました



### リサイクルバザー

道東支部の皆さんと釧路で開催、売り上げは募金に！



### ユニセフ展

トドックステーションで開催、クリスマスカード作りは大好評



## 8月

### 食べる・たいせつフェスティバル

コープさっぽろ書き損じキャンペーンの流れをお知らせし、水と衛生について一緒に学びました。8月札幌 9月室蘭・釧路・旭川・北見・10月帯広・苫小牧・函館で開催



## 9月

### 森の広場の音楽会

桜の春と紅葉の秋に開催、自然豊かな美唄アルテピアッツァでの音楽会から募金をお寄せいただきました。9月には支援ギフトの展示も！



## 10月

### ハンド・イン・ハンド

「すべての子どもに5歳の誕生日を」をテーマに小雨の中、多くの皆さまにご支援いただきました



### 理事会・講演会

#### 2018年第2回理事会

「ユニセフカンボジア事務所で働いて～SDGs」講演会



## 11月

### 北海道国際理解教育研究大会 後志大会

学習教材の展示と出前授業のご案内



### ユニセフ広場 パネル展

言葉より多くを物語るもの～ロヒンギャ難民の子どもたちを癒す「心のケア」写真展



新千歳空港



アスティ 45

## 12月

### 北海道国際協力フェスタ 2018

活動紹介とステージ発表



# 写真で見る活動報告～学校編

(北海道ユニセフ協会学習講師リーダー：小原)

## 札幌市立共栄小学校

4年生～6年生までのクラス代表のみなさんが集まってくださりユニセフの募金の使われ方、流れをお話してきました。子どもたちからは、支援物資について熱心な質問がえってくる程でした。担任の先生よりお言葉をいただきましたのでご紹介いたします。



先日は、大変お忙しい中、共栄小学校にお越しいただきありがとうございました。

実物の地雷や蚊帳など、本物に触れることが出来、子どもたちも興味津々で集中して講師のお話を聞いていました。とても貴重な時間を過ごさせていただきました。心より感謝いたします。

今回教えていただいた事を、「あったか委員会として今後のユニセフの活動に生かしていきたいと思います。

## 札幌市立発寒西小学校

出前授業で児童のみなさんからいただいたコメントをご紹介します。

- 日本がどれだけ豊かで恵まれているかが分かった。世界にはまだ戦争が起きている国があることも改めて分かった。
- 世界には栄養を十分に取れていない人々もいるから、ユニセフはとても活躍していることが分かった。貧しくて栄養が取れずに亡くなる人が少しでも減るといい。
- 日本人はすぐに食べ物を捨ててしまうから、それを貧しい人に分けてあげたい。
- 世界の子どもたちが安全に生きていけるようになるための、ユニセフの仕事について知りたい。
- 世界の子どもたちのために、募金箱を見つけた時には進んで募金をして、子どもたちのために使ってもらいたい。
- 病気の予防のカプセルは高いと思っていたのに、1円で1人、100円で100人の子どもの病気の予防ができることが分かった。
- 危険で厳しい仕事をしている子どもがいることが分かった。どんな仕事をしているかもっと知りたい。
- 川や池から水をくむと聞き、あんなに重たい水を持ちながら家に向かうのは大変だなと思った。
- 募金をすることでどんなことに協力できるのか、もっと知りたいと思った。
- 食べものをたまに残してしまうこともあるけれど、食べられない子もいるのだから、残さないでちゃんと食べたい。
- 私たちの募金で少しでも多くの子を救えることが分かって少し嬉しくなった。自分も参加したい。
- 5つのグループに分かれて貧しいグループにあたりました。一口しか飲めないのに、こぼしてしまって食料を大切にすることはとても大事であることが分かった。
- もっと自分に出来ることを知りたいと思いました。



新川小学校



西野小学校



屯田北小学校



山の手南小学校



富丘小学校

## 札幌市立新琴似中学校



担当の先生が前任校でも積極的にユニセフ活動に取り組んでおられ、新琴似中学校でも学習会・校内での募金呼びかけ・贈呈式とたくさんのご協力いただいております。



西野中学校



中央中学校



前田北中学校



静修高等学校



札幌大通高等学校



札幌大学

## 第30回高文連十勝支部ボランティア専門部研究大会

十勝管内にある高校生が集う「十勝高文連」の開催に声をかけていただきました。

今回は「いのちを繋ぐユニセフ活動」と題してパワーポイントを使ってお話しさせていただきました。途上国の子どもの現状を知ると同時に、この改善策はどうしたら良いのかも投げかけてみました。

当番校であり今回の企画を担当された幕別高等学校の先生から生徒たちに語られました。「近い将来の自分はどのような選択をするのか！そのためにも世界の現状を知り世界で働く自分を視野に入れて欲しい！」と。

後半のワークショップでは今一番ニュースで耳にする「難民」について、クイズを交えながら「日本にいる難民」について理解を深めました。

このような機会が与えられたことに幕別高校の諸先生に感謝します。



ご支援いただいた多くの学校から一部ご紹介させていただきました。

取材のご協力ありがとうございました。

# 写真で見る活動報告～企業・団体・個人

募金活動の取り組みや、パネル展を企画してご協力をいただきました。また、ご自宅や職場で集められた使用済の切手やプリペイドカードもお届けいただきました。



佐藤水産(株)



(株)かんぼ生命保健



北海道はまなす食品(株)



千歳セントラルロータリークラブ



札幌商事(株)



明治安田生命保険相互会社



日本ボーイスカウト北海道連盟



絵と工作の教室うりぼう

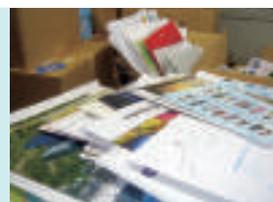
## 回収

全国から届いた使用済み切手・書き損じはがき・プリペイドカードなどを、ユニセフ活動を応援してくださるボランティア「チャイルドサポートはまなす」の皆さんが整理換金していただきました。また、写真展などイベントでの募金の呼びかけも行っています。様々な活動を通じ募金額は2018年564,072円となりました。



## カレンダーバザー

ホームページによるカレンダー提供の呼びかけにより全国から多くの善意が寄せられました。ご紹介させて頂いたほかに多くの匿名様からもご協力いただき、募金額は813,087円となりました。ご支援ありがとうございました。



- |   |   |  |   |  |
|---|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・HAC エンジニアリング株式会社</li> <li>・SG リアルティ株式会社</li> <li>・あさひ法律事務所</li> <li>・大滝学園</li> <li>・小樽グリーンライオンズクラブ</li> <li>・株式会社アイザック</li> <li>・株式会社ウォークス・</li> <li>    トレーディング管理本部</li> <li>・株式会社札幌大成</li> <li>・株式会社ジー・ワイ</li> <li>・株式会社セキテック</li> <li>・株式会社大気社 東北支店</li> <li>・株式会社鶴多建具製作所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社トモエガスセンター</li> <li>    高崎工場</li> <li>・株式会社ラジオ高崎</li> <li>・株式会社IHI トレーディング</li> <li>・株式会社 NIPPO 総務部</li> <li>    総務グループ</li> <li>・株式会社 NTT データビジネス</li> <li>    ソリューション事業本部企画部</li> <li>・株式会社エネ・ビジョン</li> <li>    東京支店</li> <li>・株式会社ゼンケイ</li> <li>・株式会社巴商会 京浜営業所</li> <li>・株式会社巴商会 仙台営業所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社巴商会 千歳営業所</li> <li>・株式会社巴商会 千葉営業所</li> <li>・株式会社ホクト企画</li> <li>・キャンノンマーケティング</li> <li>    ジャパン株式会社</li> <li>・栗林トーヨータイヤ株式会社</li> <li>・正井地所有限公司</li> <li>・スターアジア投資顧問株式会社</li> <li>・損害保険ジャパン日本興亜</li> <li>    株式会社</li> <li>・大和ハウス工業株式会社</li> <li>    佐賀支店</li> <li>・大和ハウス工業株式会社</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道支社</li> <li>・宝興産株式会社</li> <li>・中村三商株式会社</li> <li>・成幸利根株式会社 東京支店</li> <li>・西尾レントオール株式会社</li> <li>・ニシザキ工業株式会社</li> <li>・日本電設工業株式会社</li> <li>・プリジストン BRM 株式会社</li> <li>    千歳事業所</li> <li>・三井化学ファイン株式会社</li> <li>・三井住友建設株式会社</li> <li>    建築本部 設備部</li> <li>・三井物産アセットマネジメント</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールディングス株式会社</li> <li>・三井不動産レジデンシャル</li> <li>    リース株式会社</li> <li>・山田農園</li> <li>・有限会社明和重機</li> <li>・有限会社ナリサワ</li> </ul> <p style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</p> |
|---|---|--|---|--|

# 写真で見る活動報告～コープさっぽろ

## 募金

西岡・新はっさむ・ソシア・北郷の店舗で活動する組合員さんによるカレンダーバザーやユニセフ支援コーナーから募金をいただきました。また、かじ店・オタモイ店の組合員さんには使用済み切手の整理にご協力いただいております。また緊急募金・指定募金にもご支援をいただきました。



カレンダーバザー



募金贈呈式



ロヒンギャ難民緊急募金



ブータン指定募金

## 学習会・つどい・報告会

依頼を受けたコープ会や地区委員会に出向き、世界の子どもたちの現状や水の大切さをお話しています。今年は平和のつどいやブータン報告会でお話しました。



札幌東エリア・学習会



釧路地区委員会・学習会



帯広・平和のつどい



水と衛生プロジェクト報告会

## ユニセフ展・ラブウォーク

ユニセフ展は遊びながらユニセフを知るトドックステーションをお借りしての親子企画、絵本を読んだり体操したりと楽しんでいただきました。健康づくりと募金を目的とした札幌大通公園のユニセフ・札幌ラブウォークには、実行委員・参加賞の提供をいただきました。



ユニセフ展



ラブウォーク

## パネル・写真展

全道各地で行われる地区別総代会議や総代会で、コープさっぽろが2017年に取り組んだユニセフの活動をご紹介します。



岩見沢



室蘭



苫小牧



旭川

## ユニセフ指定募金

「食べる・たいせつフェスティバル」では、ユニセフが取り組んでいる手をきれいにすることの大事さを伝える“手洗いダンス”を会場の皆さんと踊ったり、ブータンスタディツアーで目にした現地の子どもの生活のパズルにして、日本との違いを楽しみながら学びました。また、バザーの売り上げは、指定募金となりました。



札幌



札幌



北見



帯広



函館



苫小牧

## 役員・評議員

会議や街頭募金にご協力いただきました。

ご支援くださった個人・団体・企業の皆さま、  
ありがとうございました。

# 25周年に当たって～

北海道ユニセフ協会 相談役 重原祐治

## 新しい地平を目指して

早いもので2014年4月当協会20周年を祝ってもう5年経過してしまいました。当年は25周年を迎えます。この5年間は、2015年事務局長の、2016年は会長理事が、そして2017年は専務理事と3年連続で変化があり、新しい執行体制への変革期といえましょう。この新しい体制のもと、当協会はますます活動の幅を広げ、北海道におけるユニセフ支援活動の発展に努力を続けております。当協会の足跡は、20周年を記念して発刊した『日本ユニセフ協会と歩んだ20年』記念誌に2013年まで詳細に記録として残しましたが、ここではその後の5年間の特徴的な取り組みを簡単にまとめておきたいと存じます。

### (20周年の2014年)

何といってもこの年は20周年記念事業です。3月15日第一弾として講演会「マサイの戦士がやってきた」が行われました。まだ雪の残る時計台前の札幌国際プラザにてケニア・マサイ族のジャクソン・オレナイヨ・セイヨ氏の熱い思いに感動し、4月20日は記念式典、祝賀会と同時に行われた講演会「地球のステージ」で講師桑山氏の熱演に酔いしれました。第3弾は6月5日日本ユニセフ協会のご配慮で学習講師研修会を札幌で開催していただき、全国の府県協会学習講師との交流を深めることができました。また式典では、初期（日本ユニセフ協会北海道支部）の活動に貢献された6氏（故人お二人を含む）に感謝状を差し上げることもできました。

この年新たに展開されたのが10月から半年10回行われた「学習講師養成講座」です。またそれと時を同じく年複数回定例化された「ボランティア説明会」と合わせて、当協会の活動を背負っていただける新たな人材を求めての取り組みでしたが、おかげさまで現在の活動集団につながることができました。



2014年「マサイの戦士がやってきた」

### (2015年)

20周年を終えて、2010年から事務局長を務められた越田和子氏が退任。後任に銀輝氏が就任され、新しい活動が始まりました。

他団体とのネットワークづくりは、それなりに行われてきましたが、この年は新しい事務局長のもと、多方面でのつながりを見せました。従来からのコープさっぽろの地区総代会での広報活動や「食べる・たいせつフェスティバル」での提携活動、「美唄森の広場音楽会」への参加、などに加え、ガールスカウトの「ワールドマーケット」への参加や、ボーイスカウト行事への参加、北海道NGOネットワーク主催の「国際交流フェスタ」への参加、札幌市環境プラザとの共催催事や、北海道大学創成研究機構主催市民講座への参加、環境情報誌「エコチル」主催の行事参加、など多彩な共同活動が定着してきました。また協会の承認を得て2件の事業に名義後援として参加するほか、札幌市立大通高校（特色ある単位制高校）の生徒さんとの共同活動も定形化されました。

募金活動では、この年ネパールで死者9,000人にも及ぶ大地震が発生し、それに伴う緊急募金活動（ユニセフ支援147億円。内日本ユニセフ協会16億円弱。北海道ユニセフ協会円）が行われています。



2015年「エコチルまつり」

### (2016年)

この年は2006年からちょうど10年二代目会長をいただいた三宅浩次氏から三代目会長として長瀬清氏（北海道社会福祉協議会会長・北海道医師会会長）にバトンタッチされて新たなスタートを切った年でした。また、この年は4年に一回のユニセフ・キャラバン・キャンペーンが行われた年にもあたりました。このキャンペーンは1979年の国際児童年に開始されたもので、日本ユニセフ協会が全国の都道府県を回り、主として学校関係の皆さんを対象に啓蒙活動を行っているものです。5月24日研修会、25日から当協会学習講師数名も同行させていただき、札幌市鼻南小学校、札幌柏中学校、札幌英藍高等学校ユニセフ学習を研修。キャラバンはその後27日登別幌別小学校、幌別中学校にも訪問されました。また、長瀬清新会長のご尽力もあり、高橋知事とも直接お会いしてユニセフへのご協力をご依頼することができました。



2016年表敬訪問

## (2017年)

2016年は会長交代がありました。この年今度は2001年11月から15年を超える長期間専務理事を務めてこられた志渡晃一氏が退任されました。志渡専務理事は北海道支部の困難な時期に就任され、今日の活動の基礎を確立された方でした。後任にはと人類学者でアフリカ・マダガスカルをベースに活動されている花淵馨也教授を推薦され、ご就任いただきました。

この年は行事としては特筆すべきことは特にありませんが、この間の活動の深化が工夫された年だったといえます。他団体との関係では、ユニセフ活動の認知があがり、この年は、前年のユニセフ・キャラバンに参加された方のご紹介で、新たに北見市で開かれた「北海道国際理解教育研究大会」に参加させていただきユニセフブースを設置させていただきました。

また、コープさっぽろのトドックセンターを会場にした様々なイベント開催など工夫がこらされました。また、従来事務局中心だったハンド・イン・ハンド活動なども、役員や他団体の方々のご参加もいただいでる広範囲な参加形態となるなど、同じ活動でも深化した形になってきています。一つ一つがより多くの方々の参加につながり、より多くの方々への広報宣伝になれる契機が作られつつあります。



2017年北海道国際理解教育研究大会

## (2018年)

この年の大きな進展はカレンダーバザーです。従来から道東支部やコープさっぽろの組合員さんのご協力でも5店舗において実施されていましたが、HPでの広報の成果もあり、全国からカレンダーの寄贈が届くようになりました。従来規模のキャンペーンでは対処できず、初めて札幌駅前のアスティ45広場を会場に大規模バザーを行いこの年のカレンダー募金は全体で80万円を超える大成功を収めました。この取り組みは2019年も継続され、更にバザー会場数も広げ、以降の新年初募金キャンペーンとして定着していくことになりそうです。

もう一つは1月に釧路で開催された日本中学校体育連盟による「アイスホッケー全国大会」における「チーム・ユニセフ」です。これは2006年から世界で展開されているユニセフ支援活動で、世界的なアスリートたちがメンバーとなり結成し、たくさんのアスリートやスポーツ団体、市民、子どもたちが賛同し、スポーツを通じてユニセフを支援しようというものです。この大会は北海道で初めてこれを冠にしたもので、道東支部の皆さんと一緒に会場で「ユニセフパネル展」を開催しました。今後の展開が楽しみな取り組みです。

また、2010年から始まったコープさっぽろの指定募金「ブータン・水と衛生プロジェクト」が終了し、2019年度から新たな支援先として「インドネシア・パプア識字率向上プロジェクト」がスタートすることです。（ブータン指定募金は累計で1億円を超えています。）

## (新しい明日に向けて)

2019年の25周年記念事業はすべてが確定しているわけではありませんが、計画としては昨年9月27日新設された創成スクウェアを会場に講演会（元ユニセフ職員久木田純関西学院大学教授を予定）を実施するほか、コープさっぽろのご協力を得ながら、ユニセフを理解していただくための新たな提携活動の創設を考えています。また、当協会の屋台骨となっていただく「会友制度」が進展していません。日本ユニセフ協会を支援していただく「賛助会員」の拡大も併せて、25周年を機に大きく広がるよう新たな取り組みを強めてまいります。

また、これまでの簡単な報告からご理解いただけるかと存じますが、北海道におけるユニセフ支援活動は着実に活動の幅を広げています。当組織の成り立ちから現在でも活動のベースはコープさっぽろの組合員活動に依拠しています。とはいえ、コープさっぽろの組合員さんは171万世帯と北海道の世帯の62%に達しており、まだまだ当方の活動がすべての組合員さんに広がっているとは言えません。さらに働きかけを強めつつ、すべての北海道の方々に支援いただけるよう、そして様々な団体や企業の方々のご支援ご協力をいただけるよう活動の幅を広げる努力をまいります。

そしてさらには、花淵専務の専門を生かした国際的な新しい活動地帯が開かれることも期待されているところです。

# ブータン水と衛生プロジェクト、8年間の取り組み

コープさっぽろ基金事務局 中村 純

## ◇コープさっぽろユニセフ活動の取り組み

コープさっぽろは、1979年の国際児童年にICA（国際協同組合同盟）から全世界の生協に発せられた「発展途上国の子どもたちにバケツ一杯の水を！」の呼びかけを受けて以来、国際貢献活動の一環としてユニセフ活動を推進してきました。その後、ユニセフ活動に協力いただいた組合員さんからの「募金がどこでどのように使われているか知りたい」との声に応じて、支援先や用途を特定する「指定募金」の取り組みを開始しました。

## ◇ブータン水と衛生プロジェクト

2010年、指定募金での支援先を検討するにあたり、近隣のアジアの国々の中から、①国連が定めた「後発開発途上国（最貧国）」であること、②5歳未満児の死亡率が高く小学校就学率が低いこと、③安全な飲料水と衛生施設が不足していること、④支援内容や成果が確認できること、⑤内政が安定し視察が可能であることなどの理由から、ブータン水と衛生プロジェクト（3か年計画）を支援先としました。

ブータンは人口約80万人、面積は北海道のおよそ半分、中国（チベット）とインドにはさまれた小さな国です。近代教育を進めるなかで1960年代にはわずか十数校だった学校が2012年には500校を超え、学校に通える子どもたちも急激に増えている一方、生徒数に見合ったトイレや手洗い場などの整備は追いつかず、男女別のトイレがなくプライバシーが確保されていないため女子生徒の退学が多いことや衛生的な手洗い場や水道がないため下痢などの病気に罹ってしまうことなど、水と衛生に関するさまざまな課題がありました。「ブータン水と衛生プロジェクト」はブータンの小中学校に安全な水道と衛生的なトイレを設置することで子どもたちの衛生環境の改善をめざす取り組みです。



壁のなくなったトイレ  
©日本ユニセフ協会 / 2012



地べたのホースの水で手を洗う少女  
©日本ユニセフ協会 / 2012

## ◇ブータン水と衛生プロジェクトの成果

2010年に第Ⅰ期募金活動（2010～2012年度）をスタートし、翌2011年から現地での支援活動が実施されました。その後、第Ⅱ期（2013～2015年度）、第Ⅲ期（2016～2018年度）と2度に渡りプロジェクトは更新されました。

2011～2018年までの支援活動により12県にある小中学校29校に衛生的なトイレが設置されました。また20県にある小中学校37校に手洗い場が設置され、衛生環境が大きく前進しました。人材育成の面では、保健コーディネーター（保健担当教員）520人に対し研修会が行われ、生徒に正しい衛生習慣を身に着けるための指導法（トイレの使い方、安全な飲み水、石けんを使った手洗い、衛



2016年ラシガン校に設置された  
女子用トイレ

生状態チェック、月経中の衛生管理、ゴミの管理、食品衛生など7項目)を学びました。新たに設置された給水設備などを維持するために学校用務員286人に対し給水施設管理の研修と保守点検用のツールキットの配布が実施されました。

ブータンへの支援に際しスタディツアーを4回(2012年、2013年、2015年、2017年)実施し、組合員自身の目で現地の状況や支援活動の成果を視察し報告会を開催してきました。昨年10月には徳田ひとみブータン王国在東京名誉総領事が来札され、「ブータン水と衛生プロジェクト」の取り組みに対しブータン王国からの感謝状が授与されました。

「ブータン水と衛生プロジェクト」の第Ⅲ期最終年度となる2018年度分として13,725,555円を送金し、これまでの累計送金額は、109,408,508円となりました。これまでご支援いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。(現地支援活動は2020年5月まで継続)



2017年カツオ小中学校に設置された手洗い場



ブータン王国感謝状授与式

### ◇新たな取り組み～インドネシア・パプアへの教育支援

インドネシア・パプア地域の子どもたちは質の高い教育を受けることができていません。この地域に住む約360万人の8割はパプア先住民です。ジャカルタなど都市部のめざましい発展の一方、農村部や遠隔地との格差が増大し、2015年の政府統計では農村部や遠隔地に住む先住民の子どもたちの約半数が学校に通ったことがないとの結果が表れています。パプア地域では、教員の指導能力の不足、常習的欠勤、指導学習教材の不足、保護者の教育への理解不足などが障害となっています。

コープさっぽろでは、2019年度から新たな指定募金「インドネシア・パプア識字率向上プロジェクト」に取り組み、パプアの子どもたちの「よみ・かき」を応援します。ご支援よろしく願いいたします。

ブータン水と衛生プロジェクト		
第Ⅰ期	2010年度	9,100,000
	2011年度	11,720,563
	2012年度	12,207,358
第Ⅱ期	2013年度	12,961,068
	2014年度	11,048,728
	2015年度	14,351,328
第Ⅲ期	2016年度	12,825,388
	2017年度	11,468,520
	2018年度	13,725,555
送金額合計(円)		109,408,508

### インドネシア・パプア識字率向上プロジェクトの概要

- 活動1：教員と校長への読み書き指導法の研修  
(200人の教員対象)
- 活動2：効果的な学習資料の提供(生徒4,200人を対象)
- 活動3：学校の水と衛生推進運動(生徒4,200人を対象)
- 活動4：地域住民への広報・啓発活動  
(地域住民12,000人を対象)
- ・募金期間 2019年4月～2022年3月
- ・現地活動期間 2020年7月～2023年6月



砂で文字の練習  
©UNICEF Indonesia

## インフォメーション①……………



## ユニセフにご協力いただく方法

### ●ユニセフ募金

子どもたちを守るユニセフの活動全体を支えます。保健、栄養、水と衛生、教育、子どもの保護など、190の国と地域で行われているユニセフの活動全体を支えていただく大切な募金です。全国の郵便局(ゆうちょ銀行)からご送金できます。

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

\*通信欄に「K1-010 北海道」とご記入ください

\*窓口でお振込の場合、送金手数料は免除されます

**このような方におすすめです～** 最も支援が必要な子どもたちの支援を好きな時に行いたい

### ●緊急・復興支援

地震や津波、洪水、台風などの自然災害や、紛争で被災した子どもたちのための緊急・復興支援活動を支える募金です。

「支援先をお選びください」ロヒンギャ難民・シリア・アフリカ栄養危機・自然災害・人道危機(2019年3月31日現在)

**このような方におすすめです～** 自然災害や紛争の影響を受けている子どもたちを支援したい

### ●分野・地域指定募金

水と衛生、HIV／エイズなど特定のユニセフの活動分野や、ユニセフが活動を行っている国・地域を指定してご支援いただける募金です。

**このような方におすすめです～** 特定のプロジェクトを応援するため支援したい

### ●ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム

クレジットカードもしくはご指定の金融機関から、任意の金額を、毎月、自動振替でご協力いただく募金プログラムです。本プログラムは、ご支援期間が決まっておきませんので、停止のお申し出をいただくまで継続されます。

**このような方におすすめです～** 最も支援が必要な子どもたちを継続的に支援したい

### ●支援ギフト

ユニセフの支援物資を、途上国の子どもたちにプレゼントするご支援方法です。ワクチン、治療用ミルク、毛布などのユニセフの支援物資をご指定ください。ユニセフがあなたに代わって、子どもたちのもとにお届けします。



### ●賛助会員

日本ユニセフ協会が行う様々な活動を、賛助会費によってご支援いただく協力方法です。賛助会員には「ユニセフニュース」や資料をお送りしますので、世界の子どもたちの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動

を知り、出来る範囲で行動する機会にさせていただくことが出来ます。

### 会員の種類と期間

1. 一般賛助会員 1口 5,000円  
(個人・入会月から1年間・申し出まで継続)
2. 学生賛助会員 1口 2,000円  
(18歳以上の学生・入会月から1年間・申し出まで継続)
3. 団体賛助会員 1口 10万円  
(企業、団体、有志のグループ・1年ごとの更新)  
年会費は、毎事業年度における合計額の50%以上を当該事業年度の日本ユニセフ協会の公益目的事業に使用いたします。

### ●外国コイン

旅行や出張で海外に行ったことがある方なら、残ったコインや紙幣が必ずあるはず！一部の国の紙幣を除けば、外国通貨は日本では両替することができません。記念品やおみやげにするのも楽しいですが、余ったコインを世界の子どもたちのために役立ててみてはいかがでしょうか。

#### ①空港の税関検査場

(帰国時、機内に預けた荷物を受け取るターンテーブルがあるホール)に設置されていますので、そちらの募金箱にお預けください。

#### ②郵送または宅配便でお送りください。

しっかりと梱包し、内容物を明記する際は「メタル」とお書きください。送料はご負担をお願いしております。

#### ③日本航空の国際線(コードシェア便を除く)

ユニセフ外国コイン募金へのご協力を呼びかけています。

機内に用意されている封筒(写真参照)に入れて、客室乗務員にお渡しください。

☆ユニセフ外国コイン募金は、日本ユニセフ協会と以下の5社の全面的な協力のもと実施されています。

三井住友銀行、日本航空、日本通運、毎日新聞社、JTB  
\*外国コインによる募金の場合、金額の記載された領収書は発行できませんのでご了承ください。

### ●募金箱の設置

小銭でも気軽に入れることのできる募金箱。地道なご協力が実を結び、募金箱から集まる募金は、年間およそ数千万円にもなり世界の子どもたちを支援する大きな力となっています。店舗用募金箱は、ご登録制となり、日本ユニセフ協会より1店舗様1箱までお貸出しております。

### ●募金活動

想いを共有する仲間を募り、アイデアを出し合い、人と人のふれあいを楽しみながら、世界の子どもたちのために、募金活動を行ってみませんか？募金活動を行っていただく際に、募金箱やポスター、チラシなどを無償で提供しています。また、集められた募金は、日本ユニセフ協会を通じてユニセフ(国連児童基金)へ送られます。

●フレンドネーション

誰でも気軽に楽しく参加できる、ユニセフの新しい支援のかたち。いくつかの項目に答えるだけで簡単に作れるプロジェクトページを、SNSで周りの方にシェアし、応援や賛同の寄付を呼びかけます。



プロジェクト例

Shioriさんは自分のお誕生日のお祝いの代わりに募金を呼びかけ、14人から寄付を集めました。

リンク> <http://bit.ly/2uVMYtj>

よこびーさんは自身で企画したマラソンで、43人から寄付を集めました。

リンク> <http://bit.ly/2uVNCad>

●他にもこんな方法でご支援いただけます。

地域のボランティア活動に参加	お香典・御花料・お祝いからのお返しを寄付	提携クレジットカードの利用	各種ポイントプログラムのポイントを寄付
携帯電話をお求めの際に（チャリティモバイルの利用）	スーパーやレストラン等、店舗に募金箱を設置	企業のユニセフ支援キャンペーンを利用	遺言や相続財産によるご寄付

●北海道ユニセフ協会の ①「会友」に登録する

2011年に4月1日にスタートいたしました北海道ユニセフ協会は、新たに「会友（かいゆう）」を募っています。これは日本ユニセフ協会の賛助会員であるか否かを問わず、新たに多くの方に当会の活動を支えていただくためのものです。趣旨をご理解の上、ぜひご登録をお願いいたします。

会友登録は無料ですが、広報誌やイベント案内など希望される方には通信費など実費として最低500円以上（年）のご寄付をお願いしています。会友に登録はするが広報誌など不要の方は、寄付の必要はございません。

●北海道ユニセフ協会の ②ボランティアに登録する

事務所や会場での活動です。主な作業は、イベント会場や街頭での募金活動・外国コインの回収と発送。パネル展の企画運営やユニセフ支援ギフトの紹介。資料の作成や発送の作業、未使用や使用済みの切手・ハガキ・カードの整理などです。

性別や経験、年齢は問いません。



詳しくは北海道ユニセフ協会にお問い合わせください。

〒063-8501 札幌市西区発寒 11条5丁目 10-1 コープさっぽろ 本部 2階  
 TEL (011) 671-5717 FAX (011) 671-5758  
 E-mail : [info@unicef-hokkaido.jp](mailto:info@unicef-hokkaido.jp) <http://www.unicef-hokkaido.jp>



皆さまの募金で、たとえばこんな支援が実現できます

【100円でできること】



ポリオから子どもを守るためのワクチン  
6回分



ビタミンAのカプセル 100錠



げりて体から水分がなくなって、命を失うことを防ぐ粉（経口補水塩） 14袋

(2019年1月現在の価格 1米ドル=111円で計算)  
※輸送や配布のための費用は含まれていません。

ユニセフとは

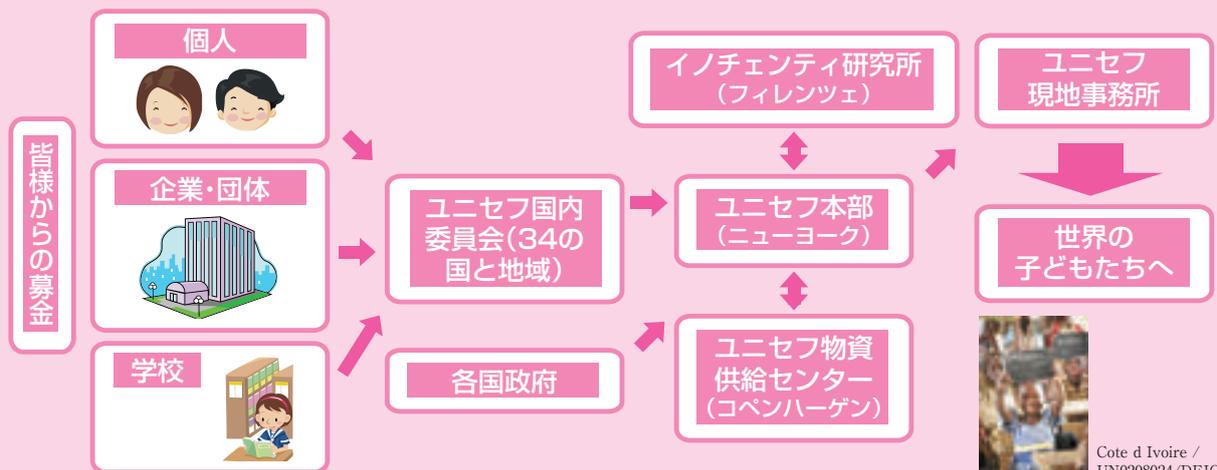
ユニセフ(UNICEF:国連児童基金)はすべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、190の国と地域で活動しています。第2次世界大戦によって厳しい生活を強いられた子どもたちへの緊急支援を行うため、1946年に創設されました。

教育、保健、水と衛生、栄養、暴力や搾取からの保護、HIV/エイズ、緊急支援、アドボカシーなどの支援を実施し、戦争で被災した子どもに限らず子どもたちの健やかな成長のために活動を行っています。その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

日本ユニセフ協会とは

公益財団法人日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)は世界34の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し、募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を行っています。日本ユニセフ協会の事業は、ユニセフとの間で行なわれる定期協議の場で合同計画を作成し、同計画に基づいて実施されています。これまでに子どもの権利条約及び選択議定書の批准に尽力し、また現在は子どもの商業的性的搾取や子どものポルノなど子どもの保護に関する問題に取り組んでいます。1955年創立

ユニセフの組織と募金の流れ



あとがき

2018年は、自然災害の多い年でした。北海道でも大きな被害があり、生活の不便さを感じた方も多いと思います。大人でも不安な毎日、その中で子どもたちはどんな思いで暮らしていたのでしょうか。また、世界にはさらに厳しい状況におかれた子どもたちもいます。その様子を見聞きするたびに、胸が痛みます。世界中から子どもたちの笑い声が聞こえるよう、引き続きユニセフの活動にご支援をよろしく願いいたします。

事務局 斉藤